千葉県内 市立A病院様

分　野
地域中核病院

企業概要
病床数　：約600
既存対策：SYSLOGベースの解析ツール

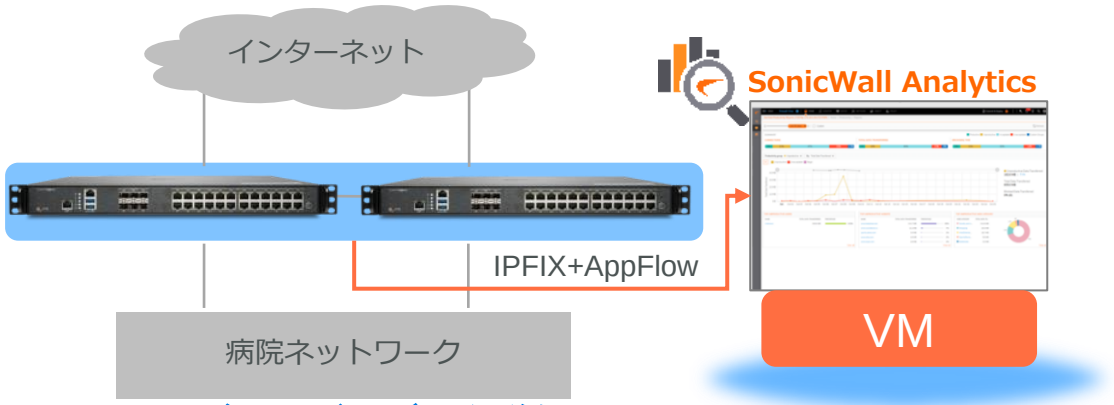
課　題
他病院で不正アクセスや攻撃による甚大な被害が報告されており、同院でも兆候の発見、検知やブロックの状況を早期に把握することが急務だったが、既存ツールでは十分でなく、迅速な初動の為にNWセキュリティを可視化できるツールが必要であった。

導入モデル
・Analytics IPFIX オンプレミス/VM版
・NSa 4700 6台
UTMが発信するデータをAnalyticsが分析表示することにより、攻撃・トラフィック・アプリケーションを詳細に可視化。

導入効果
問題を未然に把握し、迅速な初動対応が可能となった。レポート生成機能により、具体的で詳細なIT運用報告を院内に対して行うことができた。

他病院での被害教訓から、不正アクセスや攻撃を早期に分析・可視化し、問題の早期発見と迅速な対応を実現

1. 異常兆候の把握、インシデント発生時の迅速な初動対応
2. 院内の月次IT運用報告資料としてAnalytics生成レポートを利用
3. ネットワーク輻輳時の状況や原因の確認



UTMがサーバへデータ送信

UTMから収集したデータをモニタ・蓄積・分析して可視化

可視化されたデータを元に迅速な初動対応、月次報告会にレポート利用